

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業422社を対象に実施し、299社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成23年1月～3月の実績、平成23年4月～6月の見込み、平成23年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成23年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	199	139	69.8%
非 製 造 業	223	153	68.6%
計	422	292	69.2%

日銀が5月16日に公表した、北陸の金融経済月報（2011年5月）によると、「北陸の景気は、東日本大震災以降にみられている停滞感がこのところ和らいでおり、企業の業況感や家計のマインドも慎重さが幾分後退している。

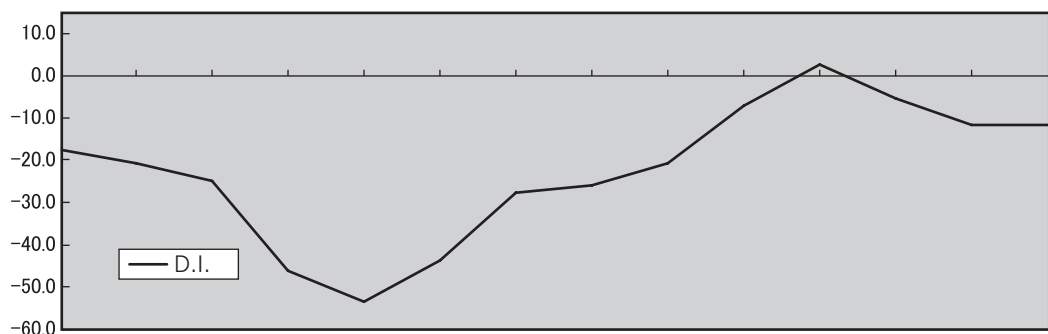
最終需要をみると、個人消費は震災による消費自粛ムードが弱まってきていることから、全体としては震災前の状況に戻りつつある。輸出は新興国を中心とした海外需要の拡大を背景に好調を維持している。設備投資は穏やかに持ち直している。住宅投資は下げ止まっているが、建材の調達難から建設時期がずれ込む状況もみられている。公共投資は基調としては減少している。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良 い	12.9	8.4	9.4	4.4	3.4	3.6	7.9	11.0	11.1	16.2	20.8	17.5	11.3	9.0
普 通	56.6	62.2	56.3	44.7	39.8	49.0	56.4	52.0	56.8	60.5	61.1	59.5	65.6	70.2
悪 い	30.5	29.4	34.4	50.9	56.8	47.4	35.6	37.0	32.1	23.3	18.1	23.0	23.0	20.8
D . I .	-17.6	-21.0	-25.0	-46.5	-53.4	-43.9	-27.7	-26.0	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-11.7	-11.8

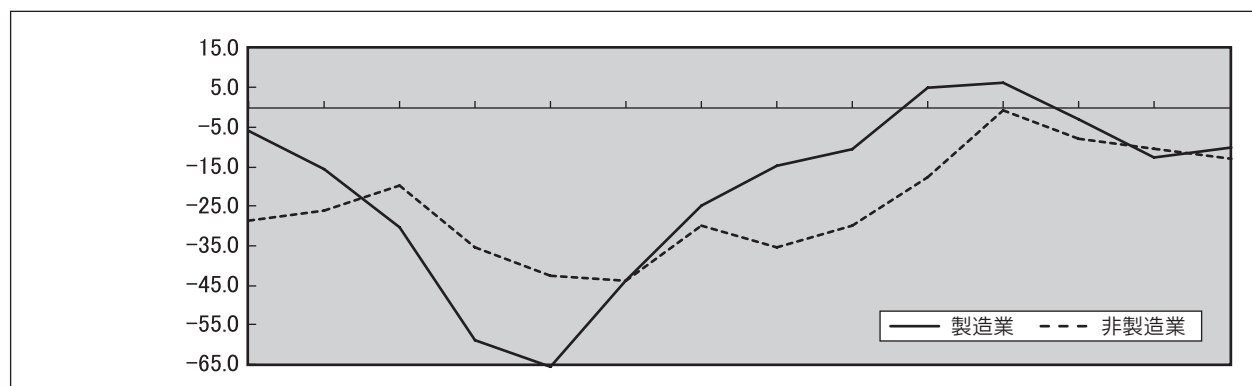


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）												見込	予測		
期別 種別	20 年			21 年				22 年				23 年					
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月			
良	い	16.3	10.2	8.4	2.6	0.7	5.7	10.0	20.5	17.7	24.3	27.0	20.3	11.6	10.2		
普	通	61.2	64.1	52.6	35.5	33.1	44.7	55.0	43.8	53.7	56.4	52.5	56.5	63.8	69.3		
悪	い	22.5	25.7	39.0	61.9	66.2	49.6	35.0	35.6	28.6	19.3	20.6	23.2	24.6	20.4		
D . I .		-6.2	-15.6	-30.5	-59.4	-65.6	-44.0	-25.0	-15.1	-10.9	5.0	6.4	-2.9	-13.0	-10.2		

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）												見込	予測		
期別 種別	20 年			21 年				22 年				23 年					
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月			
良	い	9.7	6.7	10.2	6.0	5.8	1.8	6.1	2.9	5.4	9.0	15.3	15.0	11.1	7.9		
普	通	52.2	60.6	59.6	52.5	45.7	52.7	57.7	59.0	59.5	64.1	68.8	62.1	67.3	71.1		
悪	い	38.2	32.8	30.1	41.5	48.6	45.6	36.2	38.2	35.1	26.9	15.9	22.9	21.6	21.1		
D . I .		-28.5	-26.1	-19.9	-35.5	-42.8	-43.8	-30.1	-35.3	-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-10.5	-13.2		



- (1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の23年1～3月期実績は▲5.5と前期比8.2ポイント悪化した。先行きについて、23年4～6月期のD.I.は▲11.7、7～9月期予想は▲11.8と悪化予想となっている。東日本大震災の影響から、改善してきていた業況が、悪化予想へとってきている。
- (2) 業況判断指数D.I.の23年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より9.3ポイント悪化し、非製造業も前期より7.2ポイント悪化となった。先行きについても、悪化予想となっており、4～6月予想は製造業は10.1ポイント非製造業では、2.7ポイント今期より悪化とみている。非製造業では、7～9月は更に悪化となる予想である。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	26.5	26.0	18.5	11.8	12.7	10.0	14.5	28.0	34.5	43.3	32.8	39.4	31.2	23.0
横ばい	41.2	40.9	35.4	28.0	24.1	24.9	29.9	36.2	34.8	30.2	35.5	40.8	45.2	54.6
減少	31.6	33.1	46.1	60.2	63.2	65.0	55.6	35.8	30.7	25.5	21.7	19.9	23.6	22.3
D. I.	-5.7	-7.1	-27.6	-48.4	-50.5	-55.0	-41.1	-7.9	3.8	18.8	21.1	19.5	7.5	0.7

売上高状況（うち製造業のみ）

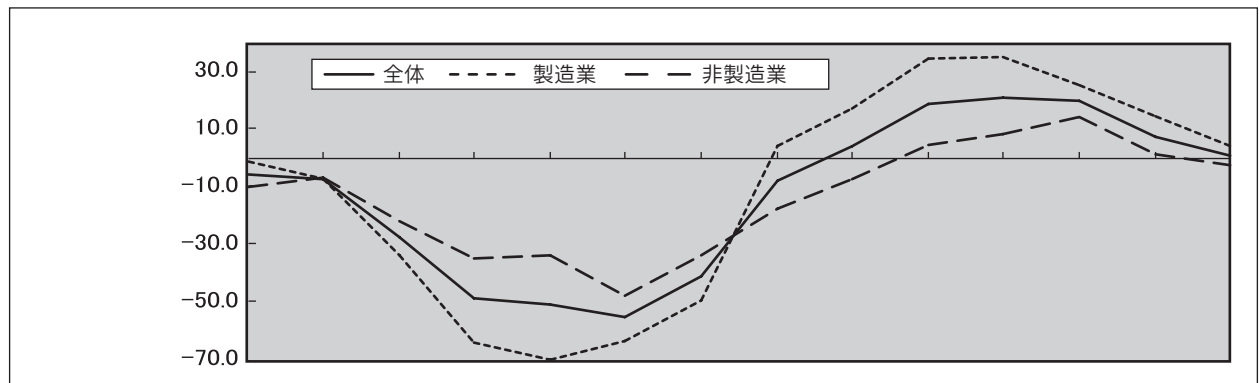
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	30.6	28.6	17.1	7.8	7.4	7.8	13.4	35.6	43.9	54.2	54.2	44.6	38.8	26.8
横ばい	37.8	35.7	32.2	20.6	15.4	20.6	23.9	32.9	29.1	26.1	26.8	36.0	36.7	50.7
減少	31.7	35.7	50.7	71.6	77.2	71.6	62.7	31.5	27.0	19.7	19.0	19.4	24.5	22.5
D. I.	-1.1	-7.1	-33.6	-63.9	-69.8	-63.8	-49.3	4.1	16.9	34.5	35.2	25.2	14.4	4.3

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	22.8	23.6	19.8	15.2	17.2	11.9	15.4	21.5	26.2	35.3	32.5	34.6	24.2	19.6
横ばい	44.4	45.6	38.3	34.2	31.6	28.6	35.2	39.0	39.9	34.0	43.3	45.1	52.9	58.2
減少	32.8	30.8	41.9	50.5	51.1	59.5	49.4	39.5	33.9	30.8	24.1	20.3	22.9	22.2
D. I.	-10.1	-7.1	-22.2	-35.3	-33.9	-47.6	-34.0	-18.0	-7.7	4.5	8.3	14.4	1.3	-2.6



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は19.5となり、前期より1.6ポイント悪化となった。先行きについても、23年4～6月は7.5と前期より12ポイント悪化、23年7～9月は更に悪化予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比10ポイント悪化、非製造業は6.1ポイント改善となった。先行きについては、製造業、非製造業とも、悪化予想となっている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

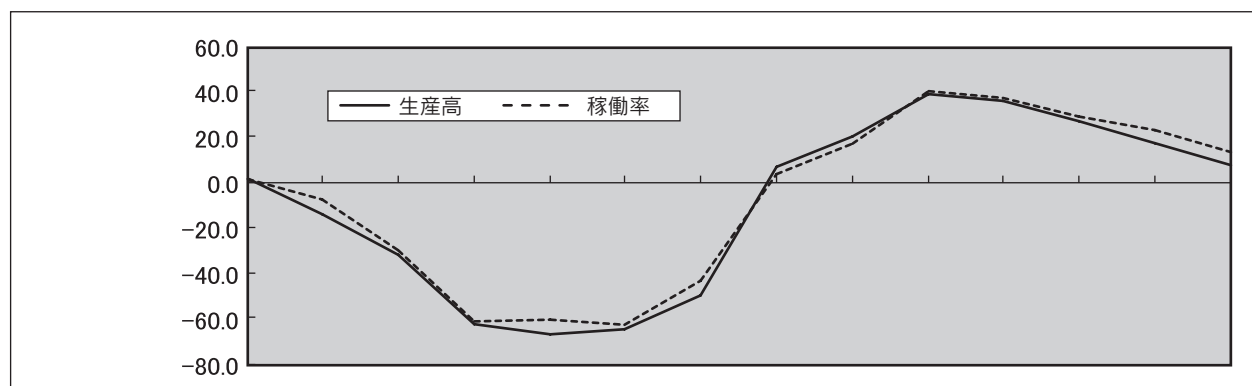
(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
20%以上増加	5.9	1.8	1.9	1.3	0.7	0.0	2.2	12.9	19.4	19.9	20.0	16.9	8.8	5.2
20%未満増加	24.1	21.2	14.6	5.9	5.2	7.1	9.5	24.3	26.6	35.5	33.3	28.7	29.4	20.7
横ばい状況	41.2	39.4	34.8	22.9	21.6	20.6	26.3	32.1	28.1	28.4	28.9	35.3	40.4	55.6
20%未満減少	26.5	30.3	35.4	33.3	32.7	36.2	38.0	22.1	18.7	15.6	15.6	14.7	16.2	14.8
20%以上減少	2.4	7.3	13.3	36.6	39.9	36.2	24.1	8.6	7.2	0.7	2.2	4.4	5.1	3.7
D . I .	1.2	-14.5	-32.3	-62.7	-66.7	-65.2	-50.4	6.4	20.1	39.0	35.6	26.5	16.9	7.4

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
上 昇	7.2	2.6	1.9	0.7	0.7	0.0	2.9	13.6	21.4	22.3	19.4	19.1	11.8	8.1
やや上昇	21.7	19.9	13.5	5.4	6.6	8.1	10.2	22.9	22.1	31.7	34.3	25.0	27.9	20.7
横ばい	43.4	47.4	39.1	26.2	25.0	21.3	29.9	30.7	30.0	32.4	29.1	40.4	43.4	55.6
やや下降	25.3	24.4	30.1	30.2	22.4	33.1	38.0	22.9	18.6	11.5	15.7	11.8	12.5	11.9
下 降	2.4	5.8	15.4	37.6	45.4	37.5	19.0	10.0	7.9	2.2	1.5	3.7	4.4	3.7
D . I .	1.2	-7.7	-30.1	-61.7	-60.5	-62.5	-43.8	3.6	17.1	40.3	36.6	28.7	22.8	13.3



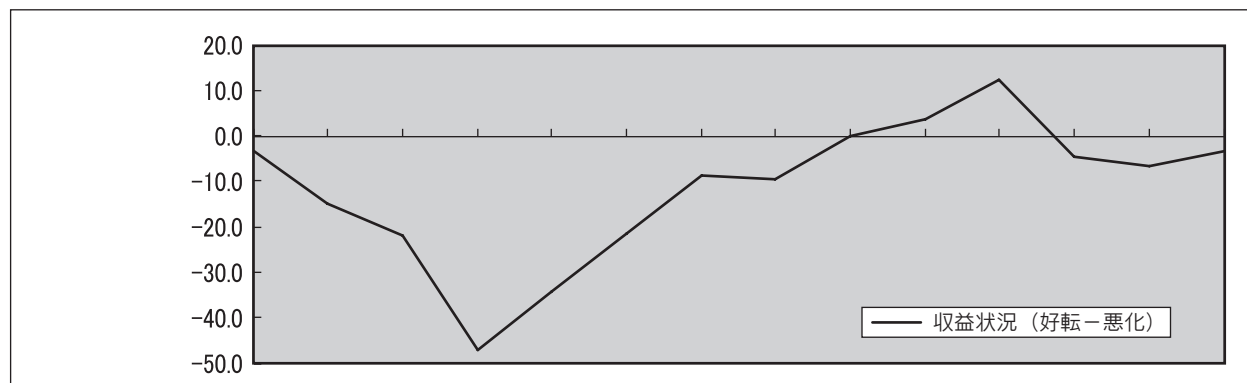
- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は、前期比9.1ポイント悪化となった。先行きについても、悪化予想となっており、23年7～9月期予想では7.4となり、今期比19.1ポイント悪化の予想となっている。
- (2) 稼働率状況D.I.は、前期比7.9ポイント悪化し、D.I.は28.7となった。先行きについても、生産高同様に悪化見込となっている。4～6月期は22.8となり、今期より、5.9ポイント悪化、7～9月期は15.4ポイント悪化予想となっている

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

種別	20 年			21 年				22 年				23 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	20.1	12.7	12.7	5.6	11.1	13.5	17.1	19.0	21.1	20.9	27.3	20.2	14.4	13.4
横 ば い	56.5	59.5	52.8	41.9	43.5	51.4	57.2	52.3	57.7	61.8	57.9	54.8	64.4	69.8
悪 化	23.4	27.7	34.5	52.5	45.4	35.0	25.7	28.7	21.1	17.2	14.8	25.0	21.2	16.8
D . I .	-3.3	-15.0	-21.7	-46.9	-34.3	-21.5	-8.6	-9.7	0.0	3.7	12.5	-4.8	-6.8	-3.4



好転理由

(%) 見込 予測

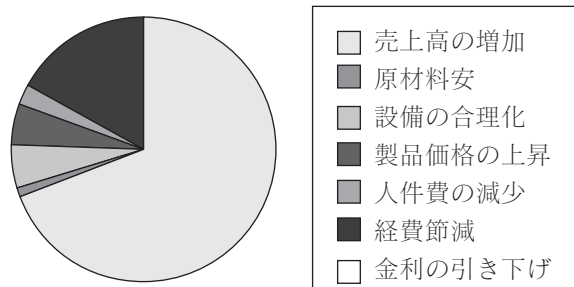
種別	20 年			21 年				22 年				23 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の増加	57.0	65.1	64.3	52.5	49.2	63.9	54.2	63.3	62.5	64.4	73.6	69.2	76.9	68.5
原材料安	0.9	4.8	14.3	12.5	6.6	8.2	11.1	5.1	4.5	1.1	1.8	1.3	0.0	1.9
設備の合理化	1.9	0.0	1.8	5.0	6.6	1.6	2.8	3.8	2.3	5.6	0.9	5.1	5.8	3.7
製品価格の上昇	17.8	11.1	5.4	0.0	1.6	0.0	0.0	2.5	5.7	2.2	3.6	5.1	1.9	7.4
人件費の減少	6.5	3.2	1.8	12.5	18.0	11.5	12.5	10.1	9.1	7.8	4.5	2.6	1.9	3.7
経費節減	15.9	12.7	12.5	17.5	6.4	14.8	19.4	15.2	15.9	17.8	15.5	16.7	13.5	14.8
金利の引き下げ	0.0	3.2	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0

悪化理由

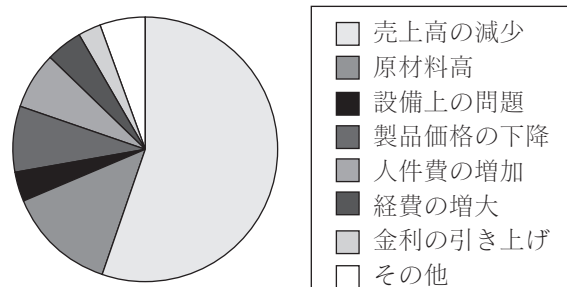
(%) 見込 予測

種別	20 年			21 年				22 年				23 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の減少	46.2	43.3	60.6	68.6	64.9	62.7	68.1	65.2	56.1	56.4	65.7	55.4	47.3	56.8
原材料高	31.7	30.4	14.3	6.3	4.8	3.6	4.2	5.0	13.2	7.7	8.6	13.4	23.7	18.9
設備上の問題	0.0	1.8	0.0	0.8	1.0	1.2	1.7	1.4	0.9	1.3	0.0	3.6	1.1	0.0
製品価格の下降	4.8	8.2	11.4	12.5	18.3	16.6	14.3	13.5	14.9	16.7	14.3	8.0	11.8	6.8
経費の増大	9.0	9.4	6.9	5.1	5.3	7.7	5.0	5.0	5.3	6.4	1.4	7.1	3.2	4.1
人件費の増加	4.8	4.1	4.0	4.7	4.8	4.1	3.4	2.8	7.0	6.4	7.1	4.5	2.2	4.1
金利の引き上げ	1.4	0.6	0.0	0.4	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	2.2	2.7
そ の 他	2.1	2.3	2.9	1.6	0.5	3.6	3.4	7.1	2.6	5.1	2.9	5.4	8.6	6.8

好転理由



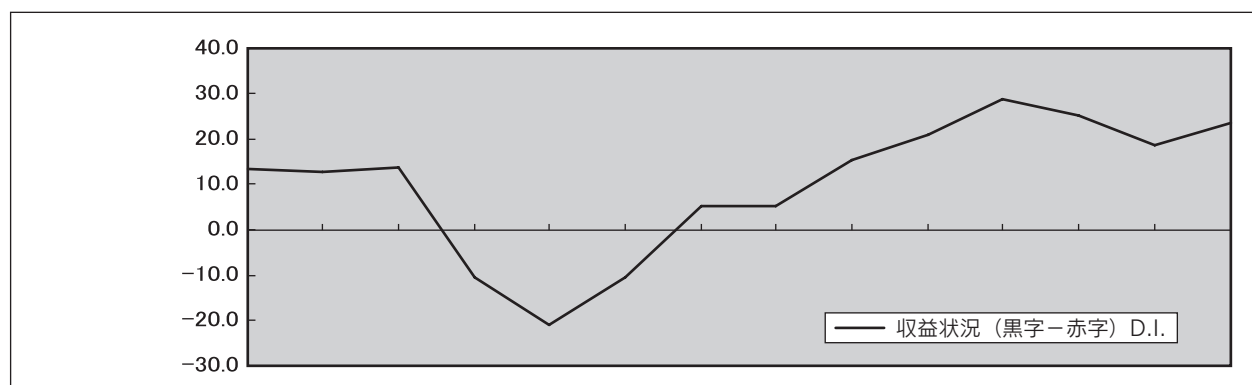
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比7.7ポイント悪化となった。先行きについても悪化予想となっており、4～6月はD.I.▲6.8と今期比2ポイント悪化見込であり、7～9月期は更に悪化を予想している。
- (2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」とするポイントが高いものの、前期比4.4ポイント悪化している。設備の合理化や経費節減を理由とするポイントが前期比増加となった。先行きについては、「売上高の増加」を理由とするポイントが依然高い。
- (3) 収益が悪化した理由は、「売上高の減少」とするポイントが依然高いが、前期比原材料高、経費の増大を理由とするポイントが増加している。4～6月については、原材料高を理由とするポイントが23.7%と高い予想となった。好転理由では、原材料安を理由とするポイントが0%となっており、原材料高が先行きの問題点となっていると思われる。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別														(%)	
	20年			21年				22年				23年			見込	予測
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月		
黒字	34.7	34.3	36.6	25.0	19.0	23.5	27.0	28.5	36.0	41.7	43.2	43.6	37.0	37.8		
収支トントン	44.1	44.1	40.4	39.6	41.1	42.6	51.3	48.3	43.3	37.6	42.5	38.1	44.6	47.9		
償却後赤字	21.2	21.6	23.0	35.4	39.9	33.9	21.7	23.2	20.7	20.7	14.3	18.3	18.3	14.2		
D.I.	13.5	12.7	13.6	-10.4	-20.9	-10.3	5.3	5.3	15.3	21.0	28.9	25.3	18.7	23.6		



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、前期比3.6ポイント悪化し、25.3となった。前期比、償却後赤字とするポイントが増加した。先行きについては、黒字予想のポイントが減少しており、D.I.は悪化予想となっている。業況、売上高とともに、ポイントは悪化となってきた。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	2.7	3.3	1.5	1.5	2.2	3.5	3.1	1.1	4.5	4.9	6.2	4.6	5.4	4.6
適正	86.2	85.1	86.0	78.0	79.2	84.0	83.5	87.7	87.2	87.8	84.8	87.1	88.3	91.6
過剰	11.1	11.6	12.5	20.5	18.6	12.5	13.3	11.1	8.3	7.3	9.1	8.3	6.3	3.8
D . I .	-8.4	-8.3	-11.1	-19.0	-16.4	-9.0	-10.2	-10.0	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-0.8	0.8

製品在庫水準 (うち製造業のみ)

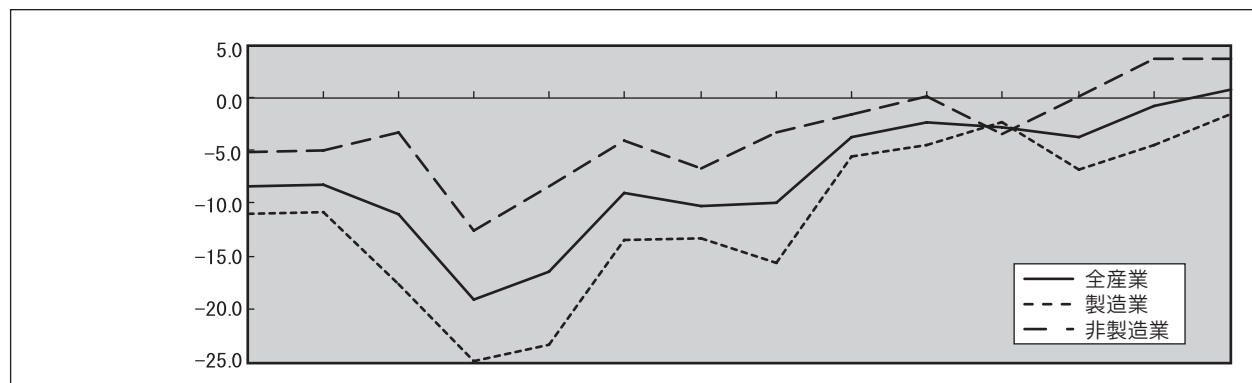
(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	1.2	2.6	1.4	0.7	2.1	4.5	3.7	0.0	5.5	5.2	7.8	4.5	4.5	4.6
適正	86.6	84.0	79.7	73.8	72.4	77.4	79.3	84.3	83.4	85.1	82.2	84.1	86.4	89.2
過剰	12.2	13.5	18.9	25.5	25.5	18.0	17.0	15.7	11.0	9.7	10.1	11.4	9.1	6.2
D . I .	-11.0	-10.9	-17.6	-24.8	-23.4	-13.5	-13.3	-15.7	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-4.5	-1.5

製品在庫水準 (うち非製造業のみ)

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	4.5	4.2	1.6	2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	3.3	4.5	4.4	4.6	6.5	4.6
適正	85.8	86.7	93.5	82.8	86.8	91.1	88.3	91.7	91.7	91.0	87.7	90.7	90.7	94.4
過剰	9.7	9.2	4.9	14.8	10.9	6.5	9.2	5.8	5.0	4.5	7.9	4.6	2.8	0.9
D . I .	-5.2	-5.0	-3.3	-12.5	-8.5	-4.1	-6.7	-3.3	-1.7	0.0	-3.5	0.0	3.7	3.7



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足－過剰」D.I.は、23年1～3月期は▲3.8となり、前期比0.9ポイントの悪化となり、過剰の状況である。先行きについては、改善予想となっており、7～9月期では不足ポイントが高くなっている。
- (2) 業種別では、製造業が過剰とのポイントが高く、先行きD.I.は改善予想である。非製造業のD.I.は今期0.0となった。先行きについては、不足とのポイントが高い予想となっている。

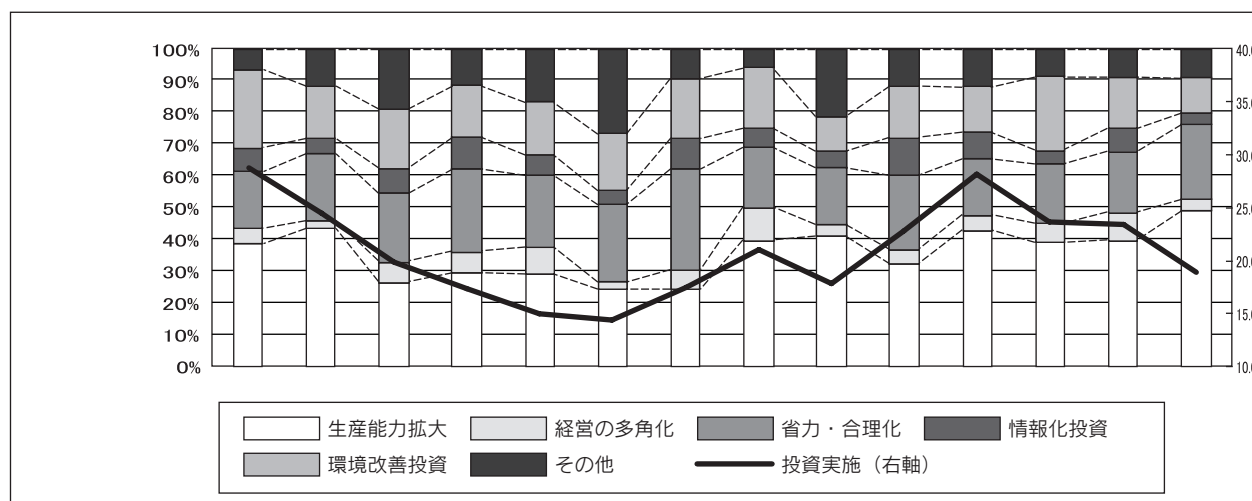
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	20 年												21 年			22 年			23 年		
	4～			7～			10～			1～			4～			7～					
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月							
投資実施	28.8	24.4	19.8	17.3	14.8	14.4	17.4	21.0	17.7	22.8	28.1	23.6	23.3	18.8							
投資せず	71.2	75.6	80.2	82.7	85.2	85.6	82.6	79.0	82.3	77.2	71.9	76.4	76.7	81.2							

設備投資の目的（実施先について）

	20 年														21 年			22 年			23 年		
	4～			7～			10～			1～			4～			7～							
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月									
生産能力拡大	38.7	43.5	26.6	29.5	29.2	24.4	24.5	39.7	41.1	32.4	42.9	39.1	39.7	49.1									
経営の多角化	4.7	2.4	6.3	6.6	8.3	2.2	5.7	10.3	3.6	4.4	4.8	5.8	8.8	3.6									
省力・合理化	17.9	21.2	21.9	26.2	22.9	24.4	32.1	19.1	17.9	23.5	17.9	18.8	19.1	23.6									
情報化投資	7.5	4.7	7.8	9.8	6.3	4.4	9.4	5.9	5.4	11.8	8.3	4.3	7.4	3.6									
環境改善投資	24.5	16.5	18.8	16.4	16.7	17.8	18.9	19.1	10.7	16.2	14.3	23.2	16.2	10.9									
その他	6.6	11.8	18.8	11.5	16.7	26.7	9.4	5.9	21.4	11.8	11.9	8.7	8.8	9.1									



(1) 23年1～3月に設備投資を実施した企業は全産業の23.6%と、前期比4.5ポイント低下した。投資実施企業は前期より増加傾向となってきた。

先行きについては、23年4～6月期は23.3%、7～9月期は18.8%と減少傾向となった。目的別では、生産能力の拡大が依然高いが、環境改善投資とするポイントが前期比8.9ポイントと大幅増加している。

(2) 業種別では、ポイントが高い順に「電子部品製造」「アルミ製品製造」「プラスチック製造」となっている。

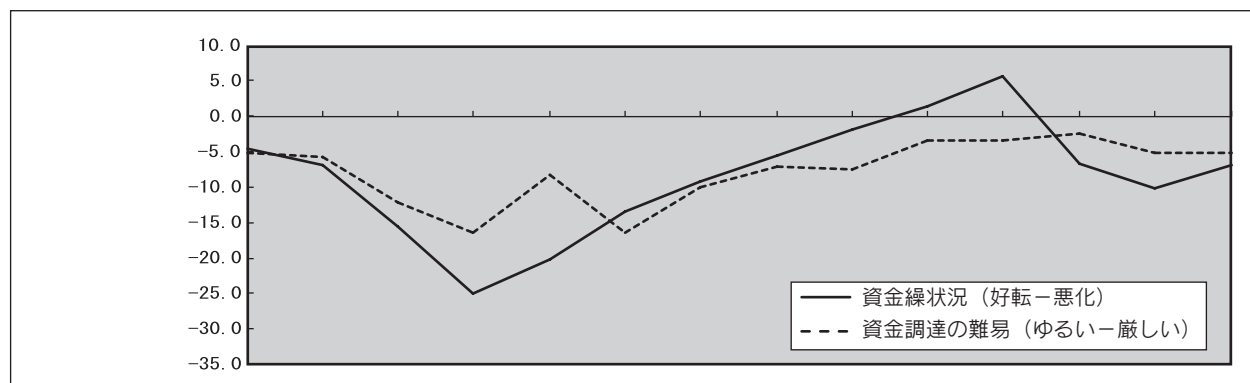
目的別では、生産販売能力拡大、省力・合理化とするポイントが高い。また、環境改善を目的とするポイントも高くなっている。先行きについても、生産販売能力拡大、省力合理化、環境改善投資を目的とするポイントが高くなっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	8.5	6.0	4.4	5.0	6.2	7.7	5.9	9.0	10.1	9.8	13.7	5.5	4.8	5.3
変 わ ら ず	78.4	81.0	75.5	65.0	67.3	71.0	79.1	76.3	77.9	81.8	78.3	82.2	80.1	81.4
悪 化	13.2	12.9	20.1	30.0	26.5	21.3	15.0	14.6	12.0	8.4	8.0	12.3	15.1	12.7
D . I .	-4.7	-6.9	-15.7	-25.0	-20.4	-13.5	-9.2	-5.6	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-10.3	-6.9



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
ゆ る い	7.9	7.5	5.9	4.4	5.9	5.1	7.3	9.7	10.2	9.6	9.9	12.1	11.0	11.5
厳 しく ない	79.0	79.3	75.9	74.9	79.9	73.3	75.4	73.3	72.1	77.3	76.9	73.4	72.8	71.9
厳 し い	13.1	13.2	18.1	20.7	14.2	21.5	17.3	17.0	17.8	13.1	13.3	14.5	16.2	16.7
D . I .	-5.2	-5.7	-12.2	-16.3	-8.3	-16.4	-10.0	-7.2	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-5.2	-5.2

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、前期比12.5ポイント悪化となった。資金繰り状況は、前期まで改善傾向にあったが、今期より、悪化ポイントが高くなった。先行きについても、4～6月期は▲10.3と悪化予想となっている。しかし、7～9月期の予想はマイナスポイントではあるが、やや改善としている。

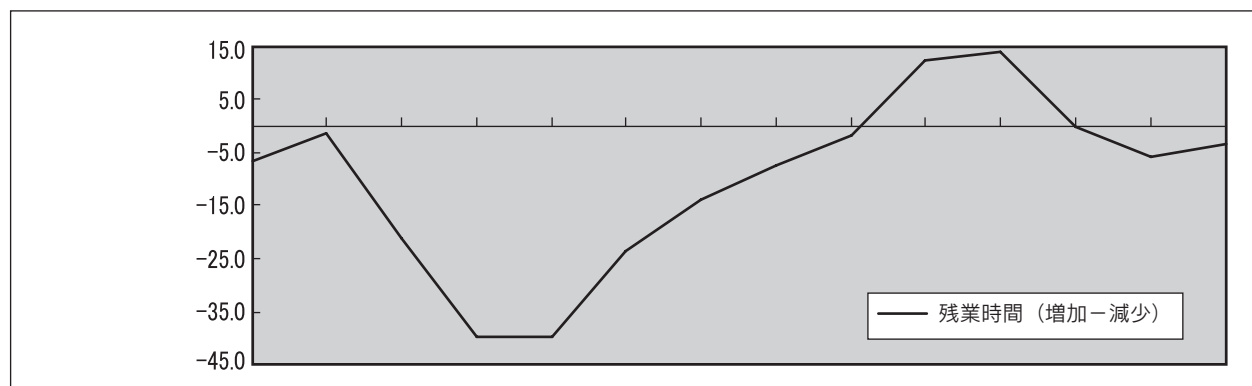
(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲2.4と前期より、1ポイント改善した。先行きについては悪化の予想となっている。製造業、非製造業別では非製造業が厳しいとの回答が多く、D.I.は▲5.3、製造業は0.7とゆるいとの回答が多かった。しかし、先行きについては製造業も厳しいとの回答が多くなり、マイナスポイントとなっている。厳しいとの回答が多かった業種は、宿泊業、繊維業となっている。

VIII. 労務事情

残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	12.4	17.6	10.0	6.5	4.3	11.3	12.1	15.4	19.0	22.4	24.6	17.4	10.3	8.5
横ばい	68.4	63.4	58.5	47.4	51.6	53.6	61.6	61.4	60.0	67.2	64.8	64.9	73.4	79.4
減少	19.2	19.0	31.6	46.1	44.1	35.1	26.3	23.2	21.0	10.3	10.6	17.7	16.3	12.1
D.I.	-6.8	-1.4	-21.6	-39.6	-39.8	-23.7	-14.2	-7.8	-2.1	12.1	14.1	-0.4	-6.0	-3.6



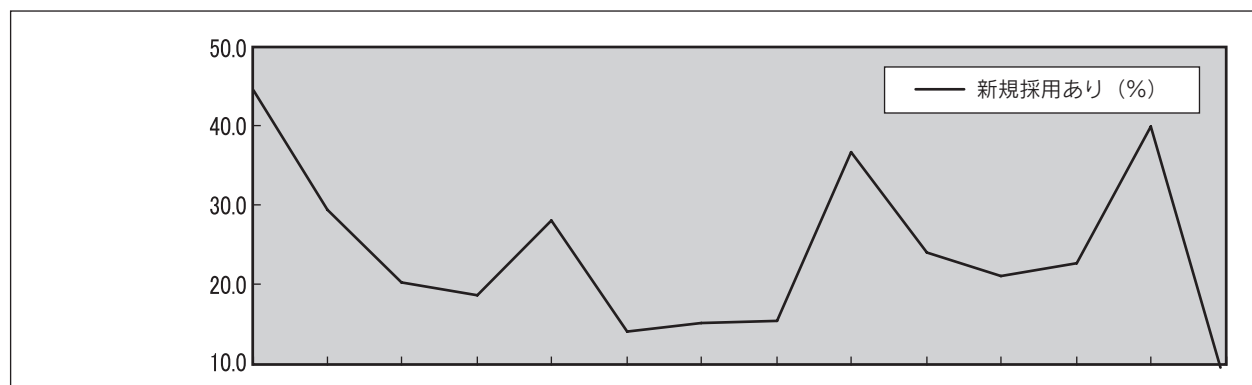
- (1) 残業時間D.I.は23年1～3月期▲0.4となり、前期比D.I.は14.5ポイント低下した。残業時間は前期比、増加と減少した企業の比率はとんとんとなっている。先行きについては、マイナスポイントであり、残業時間は減少予想となっている。

残業時間の増加と回答が高かった業種は、自動車販売、機械工業、金属製品製造業であった。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年			21 年			22 年			23 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
全産業	44.5	29.3	20.1	18.6	28.1	14.0	15.2	15.3	36.5	24.1	20.9	22.6	39.7	7.3
(うち製造業)	43.2	30.6	18.0	15.0	22.7	10.0	12.9	15.6	34.5	31.9	22.5	25.9	46.8	5.1
(うち非製造業)	45.7	28.1	22.0	21.5	32.8	17.4	17.2	15.1	38.3	17.0	19.5	19.6	33.3	9.2

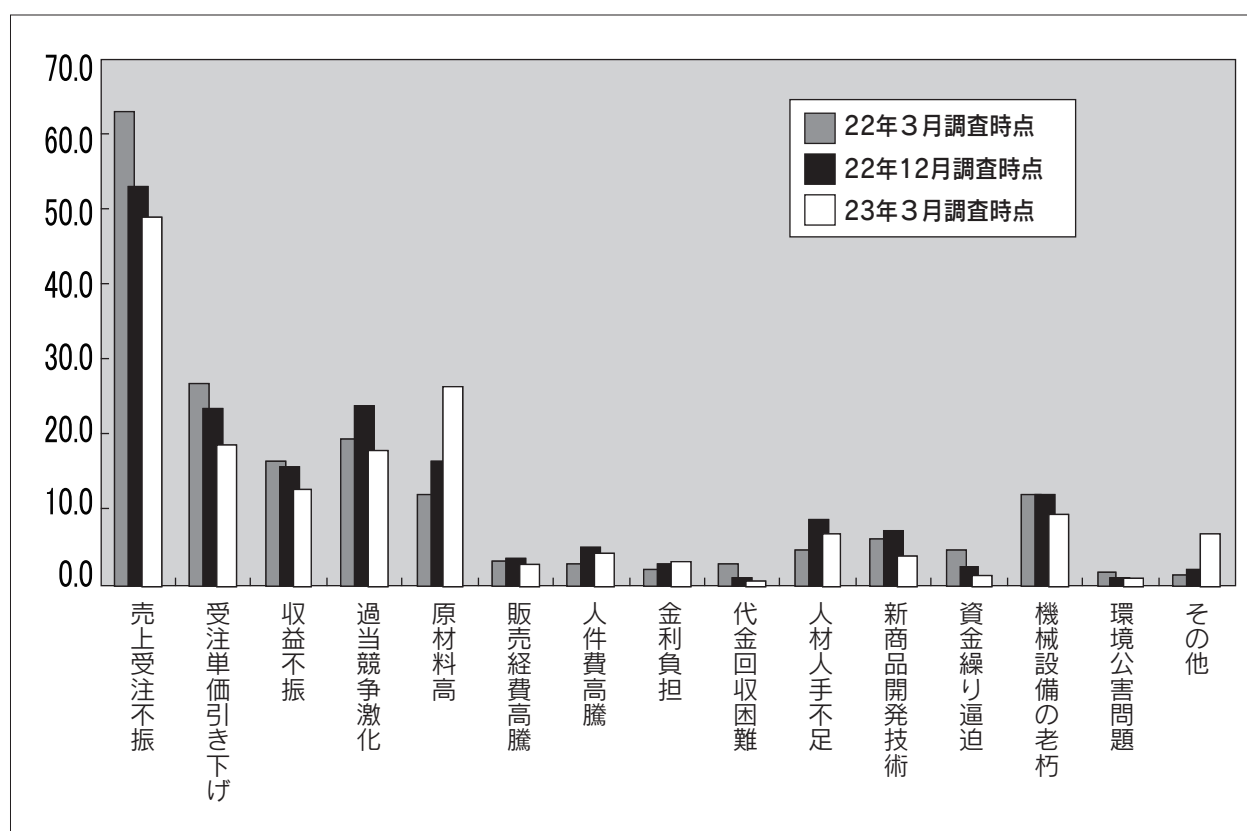


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の22.6%が新規採用を行っている。製造業では25.9%が採用を行っており、前年同期比7.3ポイント増加している。4～6月期は39.7%が採用予定であり、前年同期比か増加している。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	22年3月 (前年)	22年12月 (前回)	23年3月 (今回)	23年3月 (今回)		前环比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	62.7	52.8	48.6	(45.3)	(51.6)	-4.2
受注単価引き下げ	26.5	23.1	18.5	(20.1)	(17.0)	-4.6
収益不振	16.4	15.4	12.7	(10.8)	(14.4)	-2.7
過当競争激化	19.4	23.7	17.8	(9.4)	(25.5)	-5.9
原材料高	12.0	16.4	26.4	(33.1)	(20.3)	10.0
販売経費高騰	3.1	3.3	2.7	(1.4)	(3.9)	-0.6
人件費高騰	2.5	5.0	4.1	(3.6)	(4.6)	-0.9
金利負担	1.9	2.7	3.1	(2.9)	(3.3)	0.4
代金回収困難	2.5	0.7	0.3	(0.0)	(0.7)	-0.4
人材人手不足	4.6	8.4	6.8	(7.9)	(5.9)	-1.6
新商品開発技術	5.9	7.0	3.8	(7.2)	(0.7)	-3.2
資金繰り逼迫	4.3	2.3	1.1	(3.6)	(4.6)	-1.2
機械設備の老朽	12.0	11.7	9.2	(12.2)	(6.5)	-2.5
環境公害問題	1.5	0.7	0.7	(0.7)	(0.7)	0.0
その他	1.2	2.0	6.8	(8.6)	(5.2)	4.8



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振48.6%(前期比▲4.2ポイント)、②原材料高26.4(前期比+10.0ポイント)、③受注単価引下げ18.5%(前期比▲4.6ポイント)の順になっている。
- (2) 今回調査では、ほとんどの問題点のポイントが減少した中、原材料高が問題点との回答が前期比10ポイント増加となった。
- (3) 原材料高を問題点として高いポイントの業種は、木材業、アルミ製品製造業、卸売業、木工建具、高岡銅器、運送業の順であった。

X. 為替変動に対する影響

%

項 目		22年10～12月	23年1～3月	見込 23年4～6月	予測 23年7～9月
売 上 高	好 転	0.4	1.1	0.7	1.5
	悪 化	6.9	4.0	4.0	2.2
	影響なし	92.7	94.9	95.2	96.3
仕 入 高	好 転	3.6	0.7	1.5	2.3
	悪 化	5.7	3.3	4.8	4.6
	影響なし	90.7	95.9	93.7	93.2
営 業 利 益	好 転	2.0	0.7	1.1	1.9
	悪 化	7.3	5.5	5.9	4.9
	影響なし	90.6	93.8	93.0	93.2

前期の調査より、為替変動による影響について調査を行った。見込、予測については、前期比の予想について回答を求めた。今回274社からの回答があり、約5%の企業が売上高に影響があると回答があった。今回も影響があると回答のうち、好転したより悪化したとの回答が多かった。業種別では、売上高が好転との回答は木材業であり、悪化は機械工業、繊維業、運輸業の順にポイントが高かった。仕入に対する影響では、好転とのポイントが高いのは繊維業、悪化は運輸業石油販売業が高いポイントとなった。

XI. 東日本大震災による影響

(1) 直接・間接的に影響があるか		(2) (1)で有の場合、直接か、間接か		(1)で影響が有りとの回答先											
				(3) 今後、1年間の売上高予想			(4) (3)で減少の場合、震災による影響は			(5) 今後、1年間の利益予想			(6) (5)で減少の場合、利益全体に占める震災の影響は		
有	無	直接影響	間接影響	増加	横ばい	減少	10%未満	10%～30%未満	30%以上	増加	横ばい	減少	10%未満	10%～30%未満	30%以上
48.6%	51.4%	15.5%	84.5%	22.4%	40.4%	37.2%	60.0%	23.3%	16.7%	22.4%	50.9%	26.7%	52.4%	23.8%	23.8%

- (1) 今回の東日本大震災による影響について、331社へ調査を行った。調査先のうち、161社の48.6%に影響があった。影響については、直接影響が15.5%、間接影響が84.5%であった。
- (2) 売上高は37.2%が影響による減少を予想し、減少は10%未満との回答が60%であった。また、影響により売上高が増加するとの回答も22.4%であった。
- (3) 今後、1年間の利益予想については、影響のあった先のうち26.7%が減少予想であった。減少予想のうち10%未満が52.4%であったが、10%以上との回答も47.6%であり、うち30%以上との回答が23.8%であった。
- (4) 影響のあった業種別では、製造業が51.6%、非製造業が48.4%となった。製造業では、機械工業が12.4ポイントと最も高いポイントとなった。次に電子部品製造、プラスチック、アルミ製品製造であった。非製造では、建設業のポイントが最も高く、次に運送業、宿泊業となっている。